



かぞ

市議会だより

発行日／令和2年3月1日

発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<https://www.city.kazo.lg.jp/>

◎第43号◎



加須市合併10周年

加須市合併10周年記念
第1回加須市議会議場こいのぼりコンサート



加須市母子愛育連合会 騎西支部

童謡のふる里おとねハンドベルリンガーズ



目次

第3回定例会のあらまし… P 2～3

常任委員会の審議内容… P 6

議案に対する討論… P 8

議会活動等… P 15

議案に対する質疑… P 4～5

議案等の審議結果… P 7～8

市政に対する一般質問… P 9～14

議員活動紹介… P 16

市議会に関する情報は、ホームページをご覧ください。
◎本会議のインターネット中継を実施しています。

加須市 議会 検索



第3回 定例会の あらまし

令和元年第3回定例会は、11月26日から12月11日までの16日間の会期で開催しました。

今期定例会におきましては、令和元年度一般会計補正予算をはじめとした市長提出議案等26件、議員提出議案2件を審査し、23件を原案可決、5件の人事案件を適任といたしました。

なお、審議結果につきましては、7ページ及び8ページをご覧ください。

一般会計補正予算等 可決

主な議案等の一部を紹介
します。

令和元年度 一般会計補正予算 (第4号)

◆台風第19号関連補正予算 職員人件費

(1625万3千円)
災害対応に従事した職員
の時間外勤務手当の経
費です。



・子育て支援センター事業 (57万円)

大利根子育て支援センターのホール及び乳児スペースの雨漏りの修繕に要する経費です。

・災害時要援護者支援事業 (1万5千円)

民間の福祉施設に開設していただいた福祉避難所に対する所要の経費です。

・農作物災害対策事業 (500万円)

市が管理する水路に大量の稲わらが流失したため、農家では撤去が困難な箇所における撤去費用を補助する経費です。

・防災行政無線管理運営事業 (4億6961万7千円)

災害時の情報伝達に有効な戸別受信機を全世帯に無償で貸与するための経費です。

・道路災害復旧事業 (1424万円)

稲荷木落排水路に隣接する市道の陥没及び法面の崩落を受け、災害復旧事業として原形復旧工事を行う経費です。

・防災管理事業 (129万9千円)

協定に基づき他市町に開設した広域避難所に係る負担金及び避難者を受け入れていただいた民間施設の借上料、避難所開設に当たった職員及び被災地に災害派遣した職員の旅費に要する経費です。

・災害用物資確保事業 (487万5千円)

避難所開設に当たり使用した保存食料、乾電池などの備品の補充や使用した毛布を再度長期保存するための真空パックに要する経費です。

・水害広域避難対策事業 (97万1千円)

広域避難に使用したバスの借上料です。

・小学校施設整備事業 (390万1千円)

損壊した志多見小学校校門の門扉交換及び故障した元和小学校の放送設備の更新等に要する経費です。

・集会所管理運営事業 (14万3千円)

倒れた樹木により一部が損壊した大利根集会所のフェンスの修繕に要する経費です。

◆台風関連以外

・妊娠・出産包括支援事業 (21万円)

子育て支援の更なる充実を図るため、市内の産科医の協力をいただき、デイサービス型の産後ケア事業を新たに開始するための経費です。



・済生会病院誘致事業

(6億9930万1千円)

〔内訳〕

・済生会新病院建設工事等補助金(3億4576万円)

平成30年9月25日に締結した建設及び運営等に関する基本協定書に基づき、新病院の建設工事及び医療機器等の整備に対する令和元年度の財政支援として、埼玉県済生会に交付するものです。

※補助金の内訳：基本設計(6336万円)、実施設計(2億5000万円)、監理費(3240万円)

・地盤影響中間調査(298万7千円)

造成工事完了後、病院用地に隣接する建物に対して、工事の影響の有無を調査するものです。

・病院用地の買い戻し

(3億5055万4千円)

土地開発基金で取得した土地(病院用地)を、普通財産として済生会に貸し付けるため、一般会計で買い戻すものです。



(仮称)埼玉県済生会加須病院建設予定地(令和元年12月25日現在)

条 例

◇加須市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◇加須市特別職員の給与等に関する条例及び加須市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

市議会議員、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を0・05箇

月引き上げ、年間4・5箇月とし、令和元年12月1日から適用するなどの改正を行うものです。

◇加須市一般職員の給与に関する条例及び加須市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、一般職員の給料表について平均で0・1%引き上げるとともに、勤勉手当の支給割合を0・05箇月引き上げ、期末手当及び勤勉手当の合計を年間4・5箇月とする改定を行い、給料表については平成31年4月1日から、勤勉手当については令和元年12月1日から、それぞれ適用するなどの改正を行うものです。

また、会計年度任用職員について、一般職員の給与の改正を踏まえた給料の額の引き上げ等を行うものです。

事 件 案 件

◇財産の譲渡について

学校法人開智学園との「埼玉県立北川辺高等学校跡地利用についての覚書」により、10年間無償貸与していた土地及び建物について譲渡するものです。

・譲渡の金額
1億6570万7915円

人 事 案 件

〔人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて〕

瀬々 正行氏 (再任)
(花崎一丁目)

松本 幸子氏 (再任)
(道地)

横塚 雅光氏 (新任)
(佐波)

関根 明美氏 (新任)
(中種足)

五十畑 勝己氏 (新任)
(麦倉)

選 挙

〔埼玉県都市競艇組合議会議員選挙当選者〕

竹内 政雄議員

議員提出議案

◇加須市議会基本条例の一部を改正する条例

令和元年第3回定例会から本会議のインターネット中継が実施されることに伴い、本会議の質疑における論点の明確化を図るため、一問一答方式を導入するものです。

◇加須市議会会議規則の一部を改正する規則

質疑の一問一答方式に併せて、質疑の回数について、制限を設けないうこととするものです。



私たちが慎重に チェック

可決された 主な議案と 質疑

令和元年度一般会計
補正予算(第4号)

◇台風第19号関連◇

《災害時要援護者支援事業》

議員 水害時に要援護者が避難できる福祉避難所は3施設とのことですが、地域防災計画に掲載の水害時の災害時要援護者利用施設を活用することによる、福祉避難所の増設についてお伺いします。

福祉部長 現在、協定を結んでいる福祉施設との協定の考え方等を見直し、地震、水害のどちらでも受入が可能な態勢をとっていただけのような整理をしてまいります。

《農作物災害対策事業》

議員 水路に流出し堆積した稲わらの処理に係る経費ですが、内容と周知についてお伺いします。

経済部長 水路の暗渠部分とその前後の手が入り

にくい箇所など、営農に支障があり、農家では撤去が危険で困難な水路に堆積した稲わらを農家からの要望に基づき、市が委託により撤去するものです。このほか、ほ場に堆積した稲わらなどを処理する農家を支援するため、クリーンセンターの処分費を無料とするとともに、JAほくさいと連携し、国の事業を活用して撤去費などを補助しております。これらの情報をいち早く農家に提供するため、JAほくさいとの連名による農家組合の回覧やホームページなどにより周知しております。



《防災行政無線管理運営事業》

議員 全世帯に防災ラジコを貸与することですが、今後、漏れがないようどのように進めていくのかお伺いします。

環境安全部長 防災ラジコの貸与については、自治協力団体と相談、連携を図りながらの申請方式を考えております。水害時の広域避難の誘導や震災時の救助活動などにも中心となり、重要な役割を担っていたたく自治協力団体への加入につながるような方法で進めてまいります。最終的には希望者や、必要な方には広報紙、ホームページ、SNSなどを活用して全世帯分の配布に備えてまいりたいと考えております。



《防災管理事業》

議員 地域防災計画に沿って避難できるように、また、避難所の不足から、今後市内の避難所の確保についてお伺いします。

市長 課題となった避難スペースの不足につきましては、他の市町、市内の事業所等の協力を得て市内及び市外の避難所の確保にこれからも努めてまいります。

今回、避難情報を発令した広域避難対象地区は約3万人、市全域では11万人を超える市民がいることから、全ての方を市が設定した避難所に収容することは不可能であると考えます。今後は、命を守るための避難として市民自らが避難する場所の確保をお願いしたいということも考えており、皆様に十分理解していただけるような広報も必要であると考えております。

◇台風関連以外◇

・北川辺公民館等整備構想
策定事業

議員 対象となる公共施設及び構想策定の進め方についてお伺いします。

北川辺総合支所長 北川

辺地域内には38の公共施設があります。対象施設につきましては、北川辺地域特有の状況を踏まえ、現存する施設の有効利用を図りながら検討してまいります。また、整備構想策定に当たりましては、関係団体や地域住民の方で組織する懇話会、庁内の関係職員で組織する検討委員会を設置し検討するとともに、施設の現状、利用状況及び運営状況の調査、分析などの本構想策定に対する業務委託を行います、令和2年度の構想策定に向け進めてまいります。

・三世代ふれあい家族応援事業
議員 事業費が増えた理由についてお伺いします。

こども局長 令和元年度上半期の申請状況は、結婚や出産により実家等に戻り、三世代で同居する方が17件、世帯全員の転入が3件と本市の子育て支援施策が功を奏していると考えております。また、9月の申請は6件で、翌月の消費税率引き上げと重なったことも増加要因と考えております。

・済生会病院誘致事業

議員 新病院の実施設設計の進捗状況、病院建設の着工時期及び土地の貸し出し時期についてお伺いします。

健康医療部長 済生会栗

橋病院によりますと、現在、(仮称)埼玉県済生会加須病院の建設工事に向け、実施設計に取り組んでおり、設計期間は令和2年2月末日まで、今後



のスケジュールは実施設計と併せて施工業者の選定を行い、令和2年5月中旬の埼玉県済生会支部理事会での承認を経て、建設工事契約を締結し、着工となる予定と伺っております。また、土地の貸し出し時期は具体的に決まっておりますが、済生会側が建設工事に入る前ということと考えております。

加須市特別職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例及び加須市立公民館条例の一部を改正する条例

議員 公民館参与は、今までの館長と何が違うのかお伺いします。

生涯学習部長 職名が公

民館参与に変わりますが、知識経験者として、地域の顔としてほぼ現在の公民館長と同じ職務を行っていただく予定です。

加須市道の駅かぞわたらせ条例

議員 条例の制定に当たり「道の駅かぞわたらせ」への考えをお伺いします。

市長 ラムサール条約に

基づく湿地に登録されている渡良瀬遊水地に、道の駅が隣接していることを全国に強くアピールするとともに、従来の道の駅きたかわべ物産販売施設及び北川辺スポーツ遊学館を「道の駅かぞわたらせ」として一体的な管理及び運営を行うことで、より効果を上げていきたいと考えております。

また、「道の駅かぞわたらせ」を北川辺地域における地域の活性化だけでなく、加須市の活性化にもつなげていきたいと考えております。



財産の譲渡について

議員 学校法人開智学園への財産の売払い価格の積算根拠についてお伺いします。

総合政策部長 対象地積

は現在、学校法人開智学園に貸し付けております全面積3万7219㎡から法定外公共物の合計面積19990㎡を差し引いた3万5229㎡です。これに、不動産鑑定価格1㎡当たり1万1100円を乗じ、県から市が取得した時に、譲渡価格に積算されなかった旧北川辺町が北川辺高校の用地取得にあたって財政負担した47.03%分を控除するとともに、学校利用等の公共目的の払い下げの際に、県が用いている2割の公共減額を適用し、売払い金額を1億6570万7915円と決定いたしました。

常任委員会の審議内容

各常任委員会は、12月6日、付託された一般会計補正予算等の2議案（総務常任委員会1議案、産業建設常任委員会1議案）について審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

1議案 可決

委員長 新井好一
副委員長 小坂 裕
委員 山下雄希
池田裕美子
及川和子
大内清心
中島正和
小勝裕真
竹内政雄
川島一省

《一般会計補正予算(第4号)》

・妊娠・出産包括支援事業

問 新たに追加する産後ケア事業におけるデイサービス型の利用制限は。

答 利用時間は9時から15時30分までで、7回までの回数制限があります。

・「浮野の里」自然環境保全事業

問 「浮野の里」の公有地化に伴う土地購入後の整備予定は。

答 駐車場としての利用を見込んでいますが、今後の利用や維持管理については、地元の団体等と相談しながら検討していきます。

・公園維持管理事業

問 元町公園における遊具は増やさないのか。

答 今回は外構工事を行うもので、遊具の設置は行いません。

・文化財の保存と活用による地域活性化事業

問 渋沢栄一の書による論語碑の説明板を設置することになった経緯は。

答 市民から総願寺に論語碑があるとの情報提供があり、PRするために設置するものです。



・債務負担行為の補正

問 総合振興計画策定委託に関し、策定までのスケジュールは。

答 今年度末までに委託業者を選定し、令和2年度初めに審議会へ諮問、秋には答申をいただき、令和2年度末までに計画を策定する予定です。

産業建設常任委員会

1議案 可決

委員長 田中良夫
副委員長 中條恵子
委員 松本正行
栗原 肇
小坂徳蔵
松本英子
関口孝夫
鎌田勝義
金子正則

《加須市道の駅がぞわたらせ条例》

問 生産者の状況と特産品の販売状況及び新たな特産品の開発への取組は。

答 令和元年5月21日現在、農産物直売所出荷組合員28名、7団体です。特産品として、季節の野菜、米、いちじく、いちご、柿、味噌、饅頭、うどん、そばなどを販売しています。また、新たな特産品の開発は、市も支援しながら道の駅と出荷組合で話し合い、今後の方向性が展開できればと考えています。

問 物産施設前広場の利用目的と利用状況は。

答 イベントのほか、個人や業者が販売等で使用できますが、現在、イベント以外の利用実績はありません。



問 加須市北川辺スポーツ遊学館条例において

は、ヨットのレンタルがあったが、本条例では削除されたのか。

答 渡良瀬遊水地にヨットを5艇保管していましたが、台風第19号の影響で破損してしまったことから、削除しました。

令和元年第3回定例会 議案等の審議結果

○…賛成、●…反対、欠…欠席 ※会派別議席番号順

議案番号等	議案名等	審議結果	創政会				新政会				令和会			公明党			日本共産党		改革フォーラム									
			小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂正行	松本良夫	田中健一	吉田雄希	山下正則	金子理史	齋藤裕真	柿沼秀雄	栗原肇	中島正和	原田悟	関口孝夫	川島一省	中條恵子	大内清心	森本寿子	池田年美	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳蔵	池田裕美子	野中芳子
市長提出議案	46 令和元年度加須市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	/	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	47 令和元年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48 令和元年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第1号)	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49 令和元年度加須市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50 令和元年度加須市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51 令和元年度加須市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	52 令和元年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	53 令和元年度加須市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	54 令和元年度加須市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55 加須市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	56 加須市特別職職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例及び加須市立公民館条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57 加須市特別職職員の給与等に関する条例及び加須市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58 加須市一般職職員の給与に関する条例及び加須市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
60 加須市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議案番号等	議案名等	審議結果	創政会					新政会					令和会			公明党			日本共産党			改革フォーラム								
			小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	松本正行	田中良夫	吉田健一	山下雄希	金子正則	齋藤理史	小勝裕真	柿沼秀雄	栗原肇	中島正和	原田悟	関口孝夫	川島一省	中條恵子	大内清心	森本寿子	池田年美	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳蔵	池田裕美子	野中芳子	鎌田勝義
市長提出議案	61	加須市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62	加須市道の駅かぞわたらせ条例	可決	○	/	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	63	加須市都市公園条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	64	財産の譲渡について	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	65	公の施設の指定管理者の指定について	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	66	加須市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	3 3 7	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	/	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	1	加須市議会基本条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
	2	加須市議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。 ※審査結果の会派名は、一部略称で掲載しています。

議案に対する討論

採決に先立ち、議案に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

令和元年度 一般会計補正予算（第4号）

賛成討論

今期定例会は、多くの議員から台風関連の質問があり、多くの改善点が挙げられました。

当補正予算には、台風第19号に係る災害対策に従事した職員の人件費や、大雨により市が管理する水路等に流出した大量の稲わら撤去費用、広域避難に使用したバスの借上料、防災行政無線戸別受信機の全世帯への無償貸与に要する経費などが計上されています。特に戸別受信機の全世帯への無償貸与は、情報を正確

に確実に得ることができ、その情報から自ら判断して行動を起こすことができるようになります。配布は自治協力団体と相談しながらとのことですので、自治会への加入促進につながる可能性も出てきます。市民の皆様の自助・共助の防災意識を高めていく可能性ががあります。このほか、人事院勧告等を踏まえた職員人件費や平成30年度分の事業費決定による国・県への返還金、当初予算を上回る利用増による事業費の増額、（仮称）埼玉県済生会加須病院に対する補助や経費など、今後の災害に備えるもの、病院建設を進めるためのもの、障がい者、生活困窮者等を支援するための予算が計上されています。市民の安心・安全を確保するために編成されており、評価できることから本案に賛成するものです。

ここが聞きたい！

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、18人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に10～14ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

新井好一議員（創政会）
○防災・減災・災害に強いまちづくり 台風第19号の検証について

大内清心議員（公明党）
○防災対策について

○高齢者の命を守る肺炎球菌ワクチン予防接種について
○がんから市民の命を守るために

池田年美議員（公明党）
○防災について

○気候非常事態宣言について
○無電柱化について
○外国籍児の不就学の把握について

森本寿子議員（公明党）
○台風第19号襲来の教訓から
○自治協力団体への加入促進について

○市道128号線の道路整備について

佐伯由恵議員（日本共産党）
○台風第19号の教訓と課題について

○学校保健室の外線電話の設置について
○公立幼稚園の送迎バス運行について

及川和子議員（日本共産党）
○台風第19号における広域避難の課題について
○柳生駅エレベーター設置について

松本英子議員（日本共産党）
○台風第19号による広域避難について

○基幹排水路の整備について
○おおとね道の駅「農業創生センター」の運営について

中條恵子議員（公明党）
○防災・減災対策について
（令和元年10月台風第19号への対応から）

○認知症サポーターに地域福祉の担い手として活躍していただくために

小坂徳蔵議員（日本共産党）
○台風第19号の検証を踏まえ、犠牲者ゼロの減災・防災対策の構築について

○市民のいのちと健康を守る国保制度に改善する課題について

○特殊詐欺の被害防止について
○申告時における駐車場確保および誘導員配置について

金子正則議員（新政会）
○利根川、渡良瀬川上流のダム役割について
○利根川左岸堤防強化について

○東京オリンピック・パラリンピックについて

○「ロソビア共和国事前キャンプ」
○スポーツを活用した地域の活性化

原田悟議員（令和会）
○加須市で働きたくなる環境づくりを進める小学生・中学生の自己肯定感を高める試みについて

○認知症の人に優しいまちづくりを行うために
○踏み間違い安全装置への車両改造費用および「超小型電気自動車(EV)」購入時の助成金交付制度の検討について

関口孝夫議員（令和会）
○スポーツによるまちづくりについて

○渋沢栄の来遊記念碑について

○不動岡公園内の整備について

野中芳子議員（改革フォーラム）
○台風第19号襲来時の対応について
○社会福祉法人の監査について

川島一省議員（令和会）
○災害発生時援護を必要とする方への対応について
○がん教育について

山下雄希議員（新政会）

○10代～30代の市民と行政による協働で考える市の行事について
○生活保護制度について

池田裕美子議員（改革フォーラム）
○空き家等のマッチングにおける実効性について

○自治会要望の扱いや要望方法について
○女性・若者災害対策組織の拡大化について

○社会福祉施設等の現場職員からの通報への対応

中島正和議員（令和会）
○農免道路（市道118号線）の拡幅について（篠崎又根医王寺通り線）

○中川改修について
○新たな情報発信のツールについて

柿沼秀雄議員（新政会）

○水害の対応について
○CSF（豚コレラ）の取組
○公共施設整備について

避難指示発令のタイミングの検証について

新井 好一議員

新井 今後の台風対策、豪雨対策として、台風第19号の検証が必要で、今回の深夜1時の避難指示発令については、行政内部の課題としていろいろな角度から検証していく必要がある。最終的には避難指示の発令の権限は市長にあります。今回の発令のタイミングを含めた考えをお伺いします。

市長 利根川の水位の上昇についての情報を前提として、夜間で雨風が強かったこと、市内各所で道路冠水があったこと、受入先の避難所の状況等、様々な点を念頭に置き、市民の命をどう守っていくかを総合的に考えた上で、判断させていただきました。結果的に深夜の避難指示となり、市民に多くの混乱を生じさせたことを真摯に受け止め、次に生かしていくことで更なる災害対策の向上に努めてまいりたいと考えております。

女性防災リーダーの育成と元消防士の活用への考え

大内 清心議員

大内 避難所運営等で、女性目線を生かした防災体制を推進するため、地域のリーダーとなる女性のための防災リーダー養成講座を開催いただきたいと思っております。また、現役を退いた消防士は、職務の中で培ってきた知識・経験が豊富であるため、防災対策アドバイザーや自主防災組織のリーダーとして活躍いただきたいと思っております。考えをお伺いします。

環境安全部長 防災意識の向上を図ることは、性別や年齢に関係なく必要であり、特に防災に関する地域リーダーの養成は重要です。令和元年度は、自主防災組織の核となる方の養成を目的にリーダー養成講座の開催を予定しております。また地域の中で人材を発掘し活躍させることは、地域防災力の向上に有効であることから、埼玉県東部消防組合を通じ、消防隊員の皆様に地域への参加をお願いしてまいりたいと考えております。

気候非常事態宣言についての考え

池田 年美議員

池田 日本や世界で記録的な高温や台風等の強大化、豪雨など気候変動の影響で被害が増大しています。このような危機的状況に気候非常事態宣言を出し、緊急行動を呼び掛けることが重要です。本市も自治体としてできることを進めつつ、気候非常事態宣言に取り組み、市民や他の自治体にも呼びかけていただきたいと思っております。考えをお伺いします。

市長 気候変動に対する具体的な対策については、市の環境基本計画において温室効果ガスの削減及び節電社会の構築等を柱とする各種施策を展開しております。宣言だけではなく、実際に行動することが大事であると思っております。現在進めているもの、十分でないものは、さらに検討や行動を進めていくことに眼目を置き、気候非常事態宣言については、今後もよく研究してまいりたいと考えております。

ペットとの避難訓練及び稲荷木落排水路の整備状況は

森本 寿子議員

森本 台風第19号でペットと避難された方が多くおりましたが、迷惑をかけてしまうと逃げなかつた方もいたことから、ペットとの避難訓練も大切であると考えます。

また、稲荷木落排水路の元和橋脇の市道の陥没と護岸が崩れてしまいましたが、整備状況についてお伺いします。

環境安全部長 飼い主の方につけや避難に必要なペット用品、同行避難時の注意点を周知し、地域で開催される避難訓練時にペット同行での訓練を検討してまいりたいと考えております。

大利根総合支所長 国が台風第19号による被害を激甚災害指定したため、12月中旬に国による災害査定があり、令和2年3月末までに道路の原形復旧工事を実施する予定です。また、県営農地防災事業による、法面崩落箇所の本格整備は令和2年秋以降に最優先で行うとのこと。

荒川の洪水対策について

佐伯 由恵 議員

佐伯 台風第19号では、荒川の水位上昇により、種足第1区から第8区の住民に全くの想定外の避難準備・高齢者等避難開始が発令されました。消防団が避難を呼びかけ、種足小学校に高齢者などが36人避難されたとのこと。ハザードマップには利根川と渡良瀬川はありますが、荒川は表示されていません。荒川の洪水に対する危機意識の弱さが窺われます。地域住民の安全と命を守るためハザードマップを見直し、周知や避難訓練を実施することを提案しますが考えをお伺いします。

環境安全部長 荒川の氾濫による浸水の影響が想定される種足地区、鴻葦地区の皆様へ、さらなる周知、啓発を進めてまいります。

市長 荒川の洪水対策は、利根川、渡良瀬川に比べて少し薄かったと思いますので、今後は同じスタンスで水害対策をやっていく必要があると考えております。

避難勧告、避難指示等は躊躇なく発令を

及川 和子 議員

及川 台風第19号では、最悪の条件の中で多くの方が避難したことは、これまでの防災講演会や防災訓練等が一定程度生かされたと思います。しかし、広域避難の判断が遅れた場合、逃げ遅れて致命的な状況に陥ります。市民の命と安全を守るために、洪水時の各レベル段階に沿って避難情報を躊躇なく発令する必要があると思います。考えをお伺いします。

市長 夜間に避難情報を発令したことについては、「明るいうちに前もって」というご意見が多く寄せられております。まだ決定していませんが、夕方の6時頃までにその時点の水位に関係なく、その後の水位等を予測して、避難情報の発令を検討することが、皆様の声に応えることになると考えております。その時には、水位が通常であっても、市民の皆様が避難をいただくことも検討する必要があります。考えをお伺いします。

補助避難所の整備を

松本 英子 議員

松本 台風第19号の際、大利根地域の方は騎西地域の高柳小学校に避難しましたが、入り切れず補助避難所である加須西中学校に避難しました。避難指示を出しても避難所に入れない、行き方が分からないでは、その目的が達成できません。災害弱者が困らないよう補助避難所の整備や福祉避難スペース、災害時に活用できる福祉避難所等の準備もぬかりなく行っていたいただきたいと思えます。考えをお伺いします。

市長 避難所の状況については、これからも順次進めていかなければならない課題があります。しかし、本市が持つ財政的なものを含めた全ての資源を注入することは難しいところがございます。反省すべき点、検証すべき点は順を追って対応してまいりたいと思っております。災害は待つてくれなければならぬと考えると、対応しなければならぬと考えております。

道路冠水の状況と内水氾濫対策について

中條 恵子 議員

中條 避難所に向かう際、大規模な道路冠水があれば二次災害が起こる可能性もあります。台風第19号により道路冠水が多く発生したと伺っていますが、その状況についてお伺いします。また、内水氾濫が発生することを想定したハザードマップの活用及び内水氾濫対策についてお伺いします。

建設部長 市内では道路冠水による通行止めが53箇所発生いたしました。また、内水氾濫対策として、「第二次溢水対策計画」を策定し、ハード・ソフトの両面から積極的な対策の実施と共に、対策を実施した箇所の効果検証、新たな溢水が発生した箇所への対応等も含め、5年ごとに見直しをしており、令和2年度に改訂を予定しております。あわせて平成26年に作成した内水ハザードマップも、溢水被害が解消された箇所や道路冠水実績等を反映して見直す予定です。

台風第19号の課題への対応は

小坂 徳蔵 議員

小坂 市報かぞ12月号の台風第19号における5点の課題について、まず避難情報の周知は、戸別受信機を全世帯に無償貸与する補正予算を講じています。避難情報発令のタイミングは、明るいうちの避難勧告、指示の検討をするとのことでありました。さらに避難所の開設や運営の問題は、図上訓練等を行い事前に問題を解消すること、避難スペース不足は教室や校舎で対応すること、移動の手段や経路は、避難勧告等の早い段階での発令、地区ごとの避難ルートを分散することにより、課題の解決につながると思いますが考えをお伺いします。

市長 細部につきましては、市民の皆様のアンケート結果も含めて、これから検証し、今後の対応はスピードを持って、来年の洪水期までに最低限必要なものについては、対応してまいりたいと考えております。

緊急放流と事前放流の影響は

金子 正則 議員

金子 台風第19号の豪雨により、各地でダムの緊急放流のニュースが頻繁に流れました。これは下流にとつて、氾濫の危険性が増すことになりま。緊急放流と事前放流はどのように行っているのか、また、その影響についてお伺いします。

建設部長 異常洪水時防災操作（緊急放流）は、ダムの上流域の大雨により、貯水率が100%を上回る恐れが生じた時、流入量と同程度の量を放流することで、下流側へ影響は出ると考えられます。事前放流は洪水に備え、利水容量の一部を事前に放流することですが、利水に影響するおそれから、判断が難しいとのこと。なお、政府は台風第19号を受けて、関係省庁による見直しのための検討会議を設置し、治水機能向上のため、事前放流の量を増やし、河川の水位をさらに下げるときの基本方針を年内にまとめ、翌年6月運用開始を目指すとのこと。

小・中学生が自己肯定感を高めるために

原田 悟 議員

原田 過日、行政視察を行った秋田県大館市は、義務教育の9年間で自己肯定感を高める指導・活動を行うことで、学力の向上や地域への就職が図られ、人口増加につながることでした。本市でも自己肯定感を高めるため、小学生に子どもハローワーク制度、中学生に実体験から職業を考えるきっかけとなる企業の魅力を発信する加須版オープンファクトリー等の検討についての考えをお伺いします。

学校教育部長 本市では、小・中学校において職場見学・体験、中学生社会体験チャレンジ事業等を実施しております。現在の活動を充実させながら、将来の地域産業の担い手となるために本市の良さを実感させ、自己実現のために自己肯定感を高めていけるよう努めてまいります。また、経済部と連携を図り、本市で働きたくなる環境づくりの確立についても検討してまいります。

スポーツ少年団の加入者減少に歯止めを

関口 孝夫 議員

関口 スポーツの力によって今後のまちづくりがさらに発展すると思いますが、スポーツ少年団は毎年、加入者が少しずつ減っています。少子化から減ることは当然ですが、学校での応援体制を実施するなど、減少への歯止めが必要であると思えます。今後の取組についてお伺いします。

生涯学習部長 スポーツ少年団の加入率は、本年5月で11・1%と大きく減少しております。その要因として保護者の考え方の変化、学習塾や民間のスポーツクラブに行っていること等が影響しています。このため市内全小学校の児童全員に加入を促進する募集案内チラシの配布や、活動内容の周知等に努めております。今後もスポーツに関心を持ち、スポーツ少年団に加入いただけるよう、加須市スポーツ少年団及び体育協会によるスポーツ教室や、スポーツ体験会等の実施を充実してまいりたいと存じます。

深夜の避難指示発令は
適切だったのか、広域避難
の問題点は

野中 芳子 議員

野中 隣接する栃木市下宮地区は、12日午後9時30分頃利根川が危険水位に達する見込みとの避難勧告が出ました。本市は13日午前1時に北川辺地域、午前2時に大利根地域、大越・樋遣川地区に避難指示を発令しました。深夜の避難指示発令は適切だったのか。

また、広域避難の際、避難所に入れずに数箇所移動したなどの問題解決について伺います。
環境安全部長 台風第19号では、氾濫注意水位到達から氾濫危険水位到達まで4時間と想定約4倍の速度で急激に水位が上昇しました。市民の命を守ることを最優先に考えた深夜の避難指示の発令は、間違いなかったと考えておりますが、今後も検証を進め対策を講じてまいります。広域避難につきましては、避難方向や経路の分散、早めの避難促進、また、渋滞や道路冠水等の情報発信の方法等についても課題であると考えております。

災害時要援護者名簿の
活用状況は

川島 一省 議員

川島 台風第19号では多くの方が避難しましたが、避難に援助を必要とする方は、それぞれの状態により、健常者とは違う水に対する恐怖、一人で避難できない恐怖を感じていると思います。災害弱者の命を助ける災害時要援護者名簿は、避難活動にどのように活用されたのか伺います。

福祉部長 広域避難対象地域・地区の民生委員等の方々は、要援護者への電話連絡や訪問、避難援助者への連絡や援助要請、緊急連絡先の方への連絡、要援護者と一緒の避難行動、地域支援者と連携し、要援護者の確認等の避難誘導や安否確認に名簿を活用したとのこと。なお、要援護者への対応に関する項目も含め、民生委員等地域支援者の皆様へ台風第19号対応に関する支援者アンケート調査を現在実施しており、結果を分析検証し、今後の要援護者の避難支援に役立ててまいります。

若い世代と行政が協働で
市の行事を考えること
について

山下 雄希 議員

山下 10代から30代の若者が、行政と協働で行事を考えることで、本市に対して愛着を育むことができ、市民と行政との間が縮まります。そして行政に関心をもち、行事への参加者が増えることで市が活性化し、若者の経験値もアップすると思います。が考えをお伺いします。

市長 若い世代の方に本市の魅力を感じていただくことが、これからの本市の活性化に大変重要であると考えております。現在、様々な行事が行われている中、市の主催では、壮年の方々が中心になるケースがあります。が、内容によっては若い人を中心とした行事もあります。今後特に若い世代の積極的な市政への参加、様々な行事への参加を期待するとともに、その仕組み等も創意工夫を重ねてまいりたいと考えております。

自治会要望への対応の
「見える化」を

池田 裕美子 議員

池田 昨年度の自治会要望への対応は約4分の1です。また、要望後に年数が経過しているケースもあります。透明で開かれた市政を推進するために、すべての自治会要望の自身と対応の可能性について、すべての市民がいつでも見られるように、市のホームページに掲載することを提案いたします。が考えをお伺いします。

総合政策部長 自治会要望は、自治会長や区長が地元の切実な願いをとりまとめていただいたものと捉えています。市民の要望は自治会を通していただくことを原則としており、今後も維持してまいります。
池田 自治会長だけ見て、地元の説明すればよいのでしょうか。
総合政策部長 自治会長にお答えしたことは、自治会長を通じて要望された市民の皆様にご伝えられているものと考えております。

農免道路（市道118号線）の幅員の考えは

中島 正和議員

中島 市道118号線は、加須インターチェンジに近い葛西用水路、土手道路を起点に本樋遣交差点付近までの農免道路として整備されました。この道路は加須インターチェンジから埼玉大橋まで直線ではないものの、曲折しながら利便性が非常に高く交通量は年々増加しています。市民の安心・安全を守るためにも、幅幅をお願いしたいと思えますが考えをお伺いします。

市長 この道路は、市内の南北の幹線道路の重要な路線の一つであります。主に農業用車両等の通行を目的として整備されており、すれ違いが困難な場所もあることから、いづれは再整備しなければならぬと承知しております。拡幅して歩道等整備をするには時間と費用がかかります。ことから、幹線道路網整備計画に位置づけ、計画的に対応してまいりたいと考えております。

今後における水害対応の考えは

柿沼 秀雄議員

柿沼 台風第19号により浮かび上がった課題として、市報かぞ12月号に避難情報の周知、避難情報発令のタイミング、避難所の開設・運営、避難スペースの不足、移動手段・経路の5つの項目が掲載されていきました。これらのことを踏まえ、改善できれば今後の備えになると思いますが考えをお伺いします。

市長 様々なご指摘をいただいている課題については、そのとおりであると私も思っております。皆様からのご意見、市としての課題を含め、途中経過を広報紙に掲載し、真摯に取り組んでいくことを表明させていただきました。今後也十分検証しながら、来期の洪水時期に間に合わせていきたいと考えております。今回、区長、民生委員、消防団の皆様をはじめ多くの市民の皆様の協力をいただき、相当の対応をしていただいたことに感謝申し上げます。

本会議をインターネットで中継しています

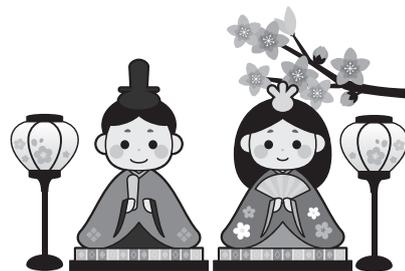
加須市ホームページ（「加須市議会」→「加須市議会インターネット中継」）から、ライブ中継と録画中継でご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。



※「加須市議会」のホームページでは、本会議の中継のほか、議会の会期日程、一般質問の通告内容、会議録、市議会だよりなど、市議会の情報がご覧いただけます。

第3回定例会 会期日程

- 11.26(火) 本会議
- 11.29(金) 本会議（議案質疑）
- 12. 2(月) 本会議（一般質問）
（議場こいのぼりコンサート）
- 12. 3(火) 本会議（一般質問）
- 12. 4(水) 本会議（一般質問）
- 12. 5(木) 本会議（一般質問）
- 12. 6(金) 常任委員会
- 12.11(水) 本会議



市議会議員と市議会モニターとの意見交換会を開催

12月20日(金)、本庁舎4階第1委員会室において、市議会への要望、提言、その他の意見を広く聴取し、議会運営等に反映させ、市議会の円滑かつ民主的な運営を推進するため、市議会モニターとの意見交換会を開催しました。

当日は、市議会モニター8名と議会運営委員会委員8名のほか、議長、副議長及び傍聴議員等計26名が参加しました。



主な意見等	回答
議員提出議案が少ない中、委員会を活性化して、委員会の提出議案を積極的に提案してもらいたい。	これまでも議会改革特別委員会において、加須市議会基本条例を提案した例もあるが、今後も議会改革の中で委員会の充実、活性化に取り組んでいければと考えています。
12月議会からインターネット中継が始まったが、議場に来る傍聴者が減ってしまうのではないかと心配だ。	インターネットのライブ配信や録画中継を見て、実際に議場へ足を運んでみたいと思うきっかけになればと考えています。
議場コンサートは大変好評であったとのことである。残念ながら今回は観覧できなかったが、次回はぜひ聴いてみたい。	今後も開催時期等を検討して、市民に親しまれる議会となるよう継続できればと考えています。
定例会終了後、市議会だよりを速やかに発行していただきたい。	先行して提供できる情報については、市議会のホームページに随時掲載しています。

議員研修会を開催

1月24日(金)、加須市をはじめ県内15市で構成される埼玉県都市競艇組合(戸田市)において、当組合の事業運営について議員研修会を開催しました。



議員定数に関する公聴会を開催

1月30日(木)、パストラルかぞにおいて、加須市議会議員の定数に関する公聴会を開催し、市民や学識経験者等の方々からご意見を直接お伺いしました。いただいたご意見につきましては、今後における議員定数の参考にさせていただきます。



議員活動紹介

—こんな事業に参加しました—



消防特別点検

11月17日(日) 加須市民運動公園において



加須市立騎西中央幼稚園再整備複合園舎竣工式
12月12日(木) 騎西小学校体育館において



加須IC東産業団地及び加須スケートパークお披露目式
12月15日(日) 加須IC東産業団地内加須
スケートパークにおいて



消防出初式

1月5日(日)
パストラルかぞ
駐車場において

市民カメラマン
斉藤啓助さん撮影

編集後記

令和元年第3回定例会では、二つの初めての取組がなされました。一つ目は本会議のインターネット中継と録画配信の開始です。二つ目は加須市合併10周年記念第1回「議場こいのぼりコンサート」の開催です。両方に共通する目的は、市民の皆様により親しみやすい市議会となっていくことです。

今期定例会の補正予算の特徴は、昨年秋の台風第19号襲来によって発生した費用や、今後の防災情報伝達に要する費用が盛り込まれている点だと言えます。

この市議会だよりが届く頃には、水害から加須市を守ってくれた堤防に、春の野の花が色付き始めているでしょう。

(編集委員 池田裕美子)

市議会だより編集委員会

委員長	小林利一	副委員長	金子正則
委員	池田裕美子	佐伯由恵	原田 悟
	吉田健一	池田年美	山下雄希

あなたも議会を傍聴しませんか。

議会の傍聴は、市政の方針等を知る良い機会です。

令和2年第1回定例会は、3月17日まで行われています。皆様の傍聴をお待ちしています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

